

科目名称	精神看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		第3学年 前期～後期	2	90
担当教員	中須賀 義憲	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

精神看護学の知識と技術を用いて、自己洞察を図りながら、精神に障害を持つ対象を全人的に把握し、セルフケアレベルに応じた日常生活の援助方法を習得する。また、精神医療の現状を理解する。

【2】学習目標

1. 精神に障害をもつ対象を身体的・精神的・社会的側面から捉え、全人的に把握することができる。
2. 精神に障害をもつ対象のセルフケアレベルに応じた日常生活の援助の方法を学ぶことができる。
3. 自己洞察を行いながら、対象との治療的関係を築くことができる。
4. 精神医療におけるリハビリテーションの役割と実際を学ぶことができる。
5. 対象のリカバリーに向けた看護職と他の保健医療、多職種連携と協働の実際を学ぶことができる。
6. 実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
実習 1 週 目	・初日に病棟オリエンテーションを受ける。対象患者の決定後、対象の現状や治療、看護について情報収集する。 ・担当患者の発病までの経過、生育歴や家族背景、精神症状(MSE)、治療の概要、セルフケアレベル、疾患や入院に対する患者の思い等を情報収集する。 ・自己洞察を行いながら、対象との治療的関係を築く。 ・実習の目的、期間、学生の役割を対象に合った方法で、はっきり伝え、関係をスタートする。 ・その日の振り返りを行う(以後、毎日)。 ・患者の表情、反応を観察し、患者のペースに合わせて患者とコミュニケーションをとる。	臨地実習
実習 2 週 目	・精神に障害をもつ対象を全人的に把握する。 ・精神に障害をもつ対象のセルフケアレベルに応じた日常生活の援助の方法を学ぶ。 ・自己洞察を行いながら、対象との治療的関係を築く。 ・精神医療におけるリハビリテーションの実際を学ぶ。 ・入院生活の1日の流れを把握し、生活のリズムを整える。 ・身体面・精神面・社会面、患者のストレングスや患者の望むゴール、家族の思いを考え、患者と共通の目標を明確にする。 ・セルフケアレベルやストレングス、患者が望むゴールに応じた援助を具体的に計画し、実施後、評価し記録する。 ・作業療法、認知行動療法、社会生活技能訓練(SST)に患者とともに参加し、患者の健康な部分やストレングスを見出し、観察して記録する。 ・訪問看護ステーションみさわ実習	
実習 3 週 目	・自己洞察を行いながら、対象と治療的関係を築き終結することができる。 ・精神障害者を取り巻く社会資源と支援者の関係の実際を知り、地域連携の方法についてまとめることができる。 ・多職種との協働における看護師の役割の実際を知る。 ・実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。 ・患者のリカバリーに向けた継続的な看護援助の実施 ・地域連携・地域活動支援センターの役割の実際を知る。 ・最終反省会	

【5】評価方法

精神看護学実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(臨地実習指導者所見含む)で評価を行い、60 点以上を合格とする。

【6】教科書

なし

【7】参考書

武井麻子:系統看護学講座 専門分野 精神看護学 1 精神看護の基礎 (第 6 版) 医学書院 2025 (電子版)

武井麻子:系統看護学講座 専門分野 精神看護学 2 精神看護の展開 (第 6 版) 医学書院 2025 (電子版)

田中美恵子:精神看護学－学生－患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版 2015

山本勝則:看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 メヂカルフレンド社 2015

【8】受講生へのメッセージ

臨地で患者さんを受け持ち、患者さんに必要な看護は何かを考え、実施する実習です。既習の知識を活用し、学びを深めましょう。